

呼吸器疾患、HIV/AIDS、睡眠時無呼吸症候群の 紹介方法について

毎日暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は患者様の紹介方法についてご案内させていただきます。

当センターへ紹介状を FAX していただきましたら、外来医長から折り返しご連絡を差し上げますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

呼吸器病センター長 星野 友昭



外来医長 東 公一 講師 (1999年入局)
担当日：火曜日 (AM)、木曜日 (AM)



現在、当呼吸器病センターは肺癌センターを開設して以来、先生方のおかげで外来患者数は急増しています。それに併せて外来担当医の数を増員し、紹介をいただける先生方のニーズに対応できるよう日々努力しております。間質性肺炎、COPD・喘息(閉塞性肺疾患)、感染症、肺癌グループもそれぞれ人材が充実してきており、外来患者数の増加に対応できるように日々努力しております。

間質性肺炎グループは今年から帰ってきた岡元先生と田尻先生を中心に第一病院 北里先生、放射線科 藤本准教授と連携をとりながら外来、入院、勉強会、臨床基礎研究ともに精力的に活動をしています。また、COPD・喘息グループは川山准教授をはじめとして木下先生、今村先生が外来、入院、勉強会、臨床治験、臨床基礎研究ともに精力的に活動をしており、感染症グループは名取先生を中心として病棟メンバーを中心に活躍しています。最後に肺癌グループは山田、東、武岡に加え期待の石井先生が加わり、より多くの患者診察が可能となり、臨床試験、治験登録が充実してきています。肺癌は日本人の死因の一位であり予後不良な疾患ですが、がんの生物学的特性を標的とした分子標的治療薬の発展により予後が著しく改善してきております。当院では最新かつ多くの臨床試験、治験を取りそろえています。しかし、その活躍も出張病院の先生方及び開業医の先生から御紹介頂く貴重な症例から学問が成り立っております。患者様を紹介いただいている先生方には頭が下がる思いです。

以上のように各グループ皆さまのニーズに対応できるよう頑張っております。長くなりましたが、諸先輩の先生方のご健勝をお祈りし、今後ともご指導ご鞭撻いただきますようお願いいたします。

呼吸器病センターへの紹介方法について

当呼吸器病センターでは呼吸器疾患全般、睡眠時無呼吸症候群、呼吸器感染症、HIV 及び海外旅行・ワクチン外来を行っています。今回は呼吸器病センターへの紹介方法を紹介します。

当センターでは患者の待ち時間の短縮のため、各施設からの紹介状は呼吸器病センター (0942-31-7711) へ FAX して下されば幸いです。外来医長の当職が内容を判断して専門外来へ振り分けます。初診の際の採血や CT などの検査の予約を入れますので、紹介状は詳細であるほど助かります。

- 1: 紹介状の FAX (0942-31-7711) は、できれば日にちを指定していただくと助かります。
- 2: 内容を判断して専門を振り分けます。担当の専門医の診察日を決めます。
- 3: 決定した診察日を当院から紹介病院へ連絡いたします。



名取 宏記 助教

(2003年入局)

担当日：

月曜日 (AM)、木曜日 (終日)

HIV/AIDSを疑ったら当センターへご紹介下さい

大学勤務も三年間が過ぎようとしています。現在、週に2回、呼吸器全般とHIV患者の外来診察を中心に仕事をさせて頂いています。今まで内科総合外来で行っていたHIV患者の診察を、昨年より呼吸器病センターの個室で行っています。当大学病院は厚生労働省指定の福岡県南部最大のHIV/AIDS治療の拠点病院です。現在、全世界でHIV陽性者は約3500万人、日本では、約21000人のHIV陽性者と、HIV陽性者のなかで、AIDS患者は約7000人と報告されています。全世界的には患者増加は落ち着いてきているのが現状ですが、わが国では、毎年約1500人のHIV陽性患者（AIDS患者は約500人）の増加を認めています。福岡県は患者数の多い県の1つであり、2012年度のHIV陽性者増加数は全国5位、AIDS患者増加数も全国8位となっています。当院外来では約30人の患者が治療されており、入院は年間に2～3人、新患者も年間に3～5人です。最近の傾向としては、ニューモシスチス肺炎、肺結核+結核性リンパ節炎、梅毒・サイトメガロウイルス感染症等を発症し、その時初めてAIDSと診断されることが多いのが特徴です。抗HIV療法が行われない場合、AIDS発症後死亡にいたるまで約2年間程度ですが、無症候期からHAART治療を開始した場合、長期の生存期間の延長を認めます。自分が感染していると気がついていない感染者を合わせると数倍になるのではないかという見解もあり、出来るだけ早い段階で診断出来れば、他人への感染も防ぐことができます。もし、比較的若い不明熱・真菌感染症（特にカンジダ症）・ニューモシスチス肺炎・結核・非結核性好酸菌症・サイトメガロウイルス感染症・带状疱疹・尖圭コンジローマ・梅毒を認めた患者がおられたら、HIV抗体検査を検討して下さい。もし、HIV抗体検査が陽性であってもその時点では、確定診断にはなりません。その後の確定診断検査と患者への説明は、個人情報も重要視されますので、当院外来にて行いたいと思います。貴院ではその後の検査は行わず、HIV抗体検査陽性のみで当院に紹介して下さい。何かご不明な点がありましたら、遠慮なくご相談、ご紹介下さい。

呼吸器病センター外来表と受診の流れ

※◎は予約制です。（平成25年8月1日現在）

	対象疾病/診療内容	担当医師	
		午前	午後
月	呼吸器内科	川山 智隆 准教授 岡元 昌樹 講師 名取 宏記 助教	岡元 昌樹 講師
	呼吸器外科	当番医	
	海外旅行・ワクチン外来		渡邊 浩 教授◎
火	肺がんセンター	星野 友昭 教授◎ 武岡 宏明 助教	
	呼吸器内科	山田 一彦 講師 東 公一 講師 枝國 信貴 助教	田尻 守拓 助教 石井 秀宣 助教
	放射線科	藤本 公則 准教授◎	
	呼吸器外科	櫻原 正樹 助教	
	睡眠時無呼吸症候群外来	星野 友昭 教授◎ 松岡 昌信 助教	星野 友昭 教授◎ 松岡 昌信 助教
水	肺がんセンター	山田 一彦 講師	
	呼吸器内科	森松 嘉孝 助教 木下 隆 助教 武岡 宏明 助教	今村 陽平 助教
	放射線科	佐土原 順子 講師◎	
	呼吸器外科	高森 信三 教授	
	海外旅行・ワクチン外来	渡邊 浩 教授◎	
木	肺がんセンター	石井 秀宣 助教	
	呼吸器内科	山田 一彦 講師 東 公一 講師 岡元 昌樹 講師 名取 宏記 助教	名取 宏記 助教
	放射線科	藤本 公則 准教授◎	
	呼吸器外科	松尾 敏弘 准教授	
	海外旅行・ワクチン外来		渡邊 浩 教授◎
金	肺がんセンター	東 公一 講師	
	呼吸器内科	川山 智隆 准教授 木下 隆 助教 田尻 守拓 助教	田尻 守拓 助教
	呼吸器外科	西 達矢 助教	
	肺がんセンター	木下 隆 助教	

受診の流れ

受付
時間

▶ 午前外来 8:30～11:00

▶ 午後外来 13:30～15:00

※肺がんセンターは午前の受付のみです。

※午後は予約と紹介状を持参の方のみです。

紹介先 久留米大学病院呼吸器病センター

住所：〒830-0011 福岡県久留米市旭町67

電話：0942-31-7629 FAX：0942-31-7711